



100km!

片川優子作 講談社

ある日、高一の女の子みちる宛てに一通の封筒が届いた。『参加申し込みありがとうございます』と書いてある。そのお知らせは、おじが勝手に申し込んだ『三河湾チャリティー100km歩け歩け大会』の参加者への連絡だった。愕然とするみちるだったが、「姉ちゃんが百キロなんて、無理だもんね」という弟への意地もあり、無謀にも夜通し歩くその大会への挑戦を決める。

悩みを抱えた高校生が百キロを歩く中で、人とふれあい、自分と向き合いながら成長していく物語。

